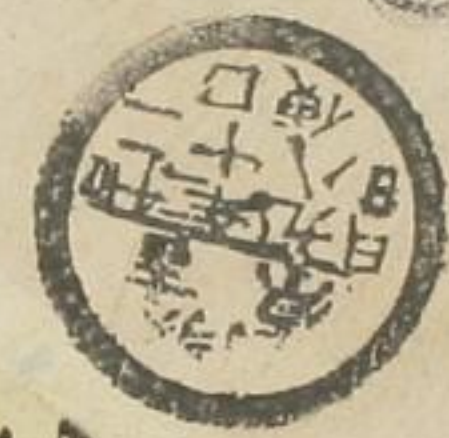


共古日録
八

東本河
家南院
年拾
拾



特別
45
1413
10



古銭の形はいろいろあり、その中には
 文字が刻まれているものもある。この
 古銭の形は、その時代の政治や経済の
 状態を反映している。また、古銭の
 価値は、その時代の価値観によって
 異なる。古銭の収集は、その時代の
 歴史を学ぶための重要な資料である。



古銭
三片



古銭
二片



古銭
二片



古銭の形は、その時代の政治や経済の
 状態を反映している。また、古銭の
 価値は、その時代の価値観によって
 異なる。古銭の収集は、その時代の
 歴史を学ぶための重要な資料である。

古今泉貨録
古銭の形

古銭の形は、その時代の政治や経済の
 状態を反映している。また、古銭の
 価値は、その時代の価値観によって
 異なる。古銭の収集は、その時代の
 歴史を学ぶための重要な資料である。

慶應二年古銀
書籍及古銀
の

年々少くありしを二書致すの一事あり
慶應二年古銀の買取し古銀増し銀書の積

- 古今銀貨 三冊
- 銀幣考 一冊
- 珍銀音呂圖録 二冊
- 孔方圖鑑 二冊
- 稀世泉譜 三冊
- 泉志 三冊
- 銭貨分量考 一冊
- 慶泉考 一冊
- 十字半兩 二枚
- 五銖 一枚
- 泰山羊両 二枚
- 小五銖 一枚
- 上横文五銖 二枚
- 管泉 一枚
- 年式分り 二冊
- 銀本分り 二冊
- 二冊分り 二冊
- 今式分り 二冊
- 二冊分り 二冊
- 而分り 二冊

三都國録
の
新本

- 建武通 三枚
- 大元通大銀 六百通
- 神切通 二百五十五
- 大元通 二枚
- 大光公仲 二枚
- 玉狐 一枚
- 其外古法の如く安法のは 二枚
- 三都に其當の元銀を年中行中極、画したる者
- 欠少ありしを以て取りかへて一枚、新同銀の
- 此にあつたなきと思ふ、其の浪花、一月畫譜と録
- 大原通 三枚
- 寛永常高 三枚
- 珍平永 二枚
- 東國通 二枚
- 而宛 二枚
- 七福神 一枚
- 崇寧常大銀 二枚
- 明元安常 二枚
- 富喜神 一枚
- 景即通 一枚
- 枕文 二枚
- 崇寧常大銀 二枚
- 明元安常 二枚
- 富喜神 一枚
- 景即通 一枚
- 枕文 二枚

松多しはむ樹がたのりはてしなく
 同書に留杖とて舶来の龍第長補には節間の長はあり
 又藤の屋久嶋には一節の向支節に留く竹ありて大枝
 略五分の如行庵の如行の杖とて竹あり節間五分とて
 摩也の竹ありて
 変物製也

変一林 豆一林 米一林
 此の如に清くしあるは毎の如くとも
 豆の如くしあるは毎の如くとも
 米の如くしあるは毎の如くとも
 此の如に清くしあるは毎の如くとも
 豆の如くしあるは毎の如くとも
 米の如くしあるは毎の如くとも
 此の如に清くしあるは毎の如くとも
 豆の如くしあるは毎の如くとも
 米の如くしあるは毎の如くとも

浪華の日記
 正月 節の如くしあるは毎の如くとも
 初卯 節の如くしあるは毎の如くとも
 二月 節の如くしあるは毎の如くとも
 三月 節の如くしあるは毎の如くとも
 四月 節の如くしあるは毎の如くとも
 五月 節の如くしあるは毎の如くとも
 六月 節の如くしあるは毎の如くとも
 七月 節の如くしあるは毎の如くとも
 八月 節の如くしあるは毎の如くとも
 九月 節の如くしあるは毎の如くとも
 十月 節の如くしあるは毎の如くとも
 十一月 節の如くしあるは毎の如くとも
 十二月 節の如くしあるは毎の如くとも

三月

天より音をえんてのし

能く現るる

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

四月

生駒山音大音

四月十日音大音

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

五月

生駒山音大音

五月十日音大音

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

何者か

七月
七日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千

夫寺寺 太子堂法會

十日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千

中山寺 千日小
尾野 千日小

十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千

信濃河 行香
久米河 行香

十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千

十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千
十一日 行香 寺千

八月
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千

いまく 行香 寺千

十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千

牛田寺

十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千

十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千
十日 行香 寺千

第分

心裁のりし法に子音も詰
日本切手紙意方の社稷持あり

甲子年正月並参詣

廿日天満寺
廿一日天満寺

甲子年正月並参詣
廿日天満寺
廿一日天満寺
廿二日天満寺
廿三日天満寺
廿四日天満寺
廿五日天満寺
廿六日天満寺
廿七日天満寺
廿八日天満寺
廿九日天満寺
三十日天満寺

一月月会并辰辰

廿日天満寺
廿一日天満寺
廿二日天満寺
廿三日天満寺
廿四日天満寺
廿五日天満寺
廿六日天満寺
廿七日天満寺
廿八日天満寺
廿九日天満寺
三十日天満寺

毎月

廿日天満寺
廿一日天満寺
廿二日天満寺
廿三日天満寺
廿四日天満寺
廿五日天満寺
廿六日天満寺
廿七日天満寺
廿八日天満寺
廿九日天満寺
三十日天満寺

常取場

廿日天満寺
廿一日天満寺
廿二日天満寺
廿三日天満寺
廿四日天満寺
廿五日天満寺
廿六日天満寺
廿七日天満寺
廿八日天満寺
廿九日天満寺
三十日天満寺

河野汎興

廿日天満寺
廿一日天満寺
廿二日天満寺
廿三日天満寺
廿四日天満寺
廿五日天満寺
廿六日天満寺
廿七日天満寺
廿八日天満寺
廿九日天満寺
三十日天満寺

河野汎興
廿日天満寺
廿一日天満寺
廿二日天満寺
廿三日天満寺
廿四日天満寺
廿五日天満寺
廿六日天満寺
廿七日天満寺
廿八日天満寺
廿九日天満寺
三十日天満寺

繪本江戸三十三
に載つた二八五
頁の右枝之世后

画工重長の繪かき繪本江戸三十三
安永八年三月廿七日平安書林菊屋
あまねおとふり求枝
にあれがはかひの江戸況を
三六枚をばいんさどあり
成るすこ木所の巻より二八
の巻に二八をいんさどの巻
よそあひのよとすこ九百
つりよとにこして繪せ回
らんぬ程せりゆの巻を
み書に成る観る巻の巻
まわりを見せありりふ
此の巻にありありありあり
ありありありありありあり

撰り葉の下巻

撰り葉の下巻

洛陽畫工友禪子圖

寶永三年丁丑孟春良辰

平安書舎通情軒彫之

右の書は紙本三冊友禪花鳥景也
画の巻の巻をみせの好
予下の巻をきいんさどの
弱くはありありありあり
静園平七画所二月に竹
紙村方三行とこふ

好書堂の
元旦

伏櫛と題し与右清經筆の物語及挿繪ありと云はれ
 るものといつものかと思ふ所の「題」然りてあるか
 挿繪とありしや否しもさるるある画は与右の画
 清經の名にあり或は同じ本を以て別本なりや
 又一本は身命に由る國分所十九軒東側本屋
 ありとの枝式歌書の画は古画なりとも
 枝やとの枝式歌書の画は古画なりとも
 枝やとの枝式歌書の画は古画なりとも
 の支子のなまを削りてあるものなり
 後にかくは方か枝やとの枝式歌書の画は古画なりとも
 本を常たいたはれぬありとも
 ありとも
 ありとも
 ありとも

伏櫛と題し与右清經筆の物語及挿繪ありと云はれ
 るものといつものかと思ふ所の「題」然りてあるか
 挿繪とありしや否しもさるるある画は与右の画
 清經の名にあり或は同じ本を以て別本なりや
 又一本は身命に由る國分所十九軒東側本屋
 ありとの枝式歌書の画は古画なりとも
 枝やとの枝式歌書の画は古画なりとも
 枝やとの枝式歌書の画は古画なりとも
 の支子のなまを削りてあるものなり
 後にかくは方か枝やとの枝式歌書の画は古画なりとも
 本を常たいたはれぬありとも
 ありとも
 ありとも
 ありとも

古儀編
三書
五

而當是時事板行書者亦自今用之可任他無據可細
有之者奉行所請也美因請可申之奉也
のちたるの愛也二年より十年迄の間に
伏前
の文書を
と愛を
請滿
て死
法
路
法
のちたるの愛也二年より十年迄の間に
伏前
の文書を
と愛を
請滿
て死
法
路
法
のちたるの愛也二年より十年迄の間に
伏前
の文書を
と愛を
請滿
て死
法
路
法

い慶安二年の元禄年代の大坂城出陣の
所記を
初冬山子写教訓書
腰越状
義經合状
西谷赤良坊辭慶安朝書控一函
熊谷退状
同上
同上
同上
同上
同上

經盛返状
大坂進状

同日返状

同上 同上

其考のうろ腰越状と云ふの相違腰越考の付物
と云ふは相違を解憂の目撃を毎字の字ありて
義經書加へて不義照備念つて許さるる者
新編書せしと兼録義まをわんが今の腰越
ありや不明なる春を相中紀行より相違系文
既宗盛に歸及至此新如御之ある下海念乃
以新其寔は新慶事之此其少也蓋故思念而後
慶事今成は存考余素向如其廣矣故不請覽之
とありは論ぬぬなりと云ふ事ありし見ゆ

経盛返状
大坂進状
同日返状

河内守上の正儀を心あつて大坂状のあり
然るは也と云ふ事は相違を大坂状より得
や人の婦人三つ收めてありしものなり
大坂川より大坂より三つありしものなり

花の香やおもひの
この香をたのむるものなり

果昔梅
ふれおの香をたのむるものなり

三日月の香をたのむるものなり
一月まで放せり

年
月

同

同

武蔵國分寺古瓦

銅塊大圓の如く形

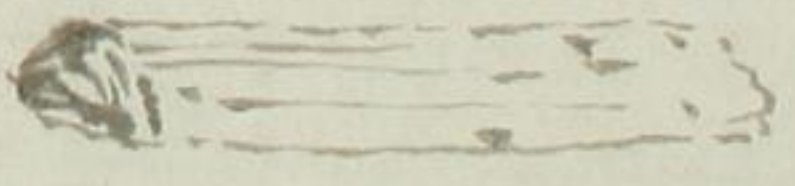


武蔵國分寺古瓦とともに出た銅塊大圓の如く形

舟の形

舟の形

舟の形



舟の形

舟の形

舟の形

舟の形

舟の形

舟の形

舟の形

舟の形

教
王
寺
銘

福
王
寺
古
名
堂
也
古
稱
有
銅
像
銘

敬
白
奉
施
入
信
又
卿
天
王
寺
如
法
堂
大
勸
進
聖
人
僧
定
心
大
檀
主
藤
原
與
年
緣
友
作
之

小
勸
進
白
井
友
包
藤
原
與
清
緣
友

源
代
藤
井
末
意
高
部
自
守
成
佛
子
僧
安
海
僧
慶
勢
僧
龍
隆

大
志
者
為
慈
尊
三
會
之
時
同
令
二
佛
淨
土
往
生
也
大
藏
八
月
十
九
日
承
安
元
年
歲
次
辛
卯
取
紫
僧
長
祿

聖
王
の
御
名
年
表
に
よ
り
經
同
を
載
す

二
板
木
二
板
を
以
て
大
藏
の
如
來
の
御
名
年
表
に
よ
り
經
同
を
載
す

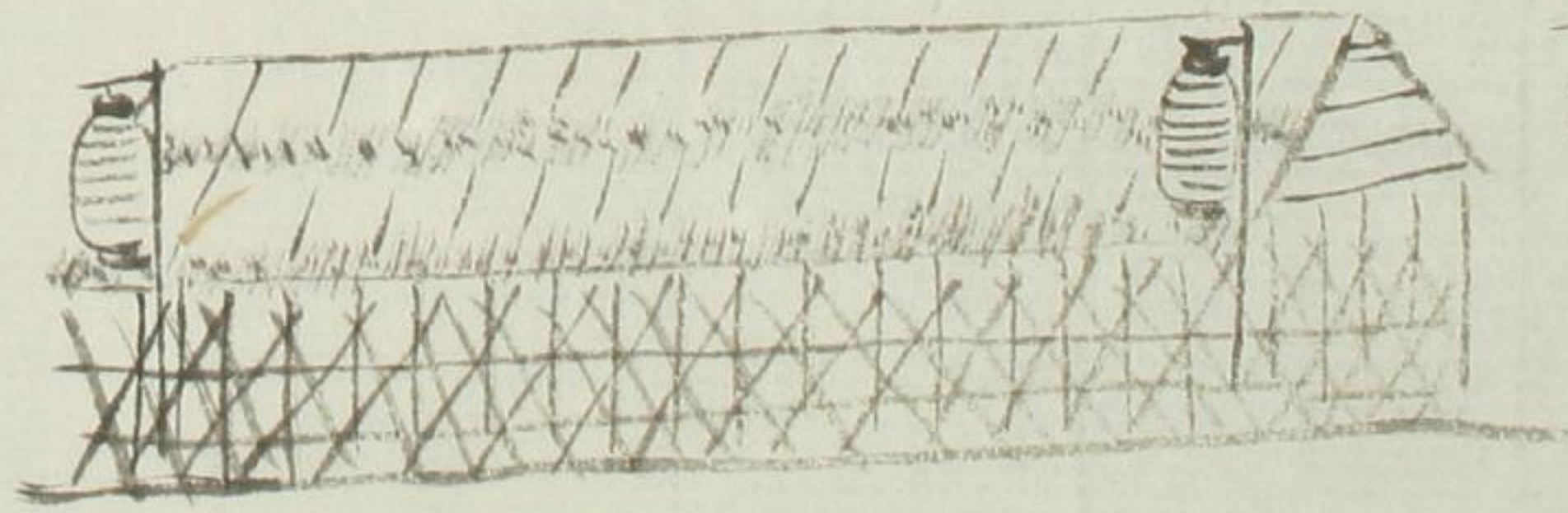
如
來
の
御
名
年
表
に
よ
り
經
同
を
載
す

| | | | |
|---|-------------|---|------------------|
| ○ | 國 寶 藏 | 一 | 法 師 十 五 |
| ○ | 大 藏 經 | 一 | 法 師 十 五 |
| ○ | 大 藏 經 | 一 | 法 師 十 五 |
| ○ | 大 藏 經 | 一 | 法 師 十 五 |
| ○ | 大 藏 經 | 一 | 法 師 十 五 |

此
の
如
來
の
御
名
年
表
に
よ
り
經
同
を
載
す

系持助八丁... 大火の救心... 妙哉

谷前口... 五丁... 五丁...



河村... 五丁... 五丁... 五丁...

前記... 五丁... 五丁... 五丁...

弘化三丙午正月十六日改正
河村五丁... 安南

泰平
堂藏

弘化三丙午正月十六日改正
河村五丁... 安南

○大雷 如一狐受 亦三日月の... 雷鳴あり

○十箇國大地震三箇 大列二枚つゝ 亦七甲寅年十月...

○大震 尾張三河を以て震甲斐相模武蔵... 同あり

○攝津大津波の治方 大列二枚つゝ 亦七甲寅年十月...

○東のるる而五三のゆ大津波 大震三箇 大列一枚つゝ 亦七甲寅年十月...

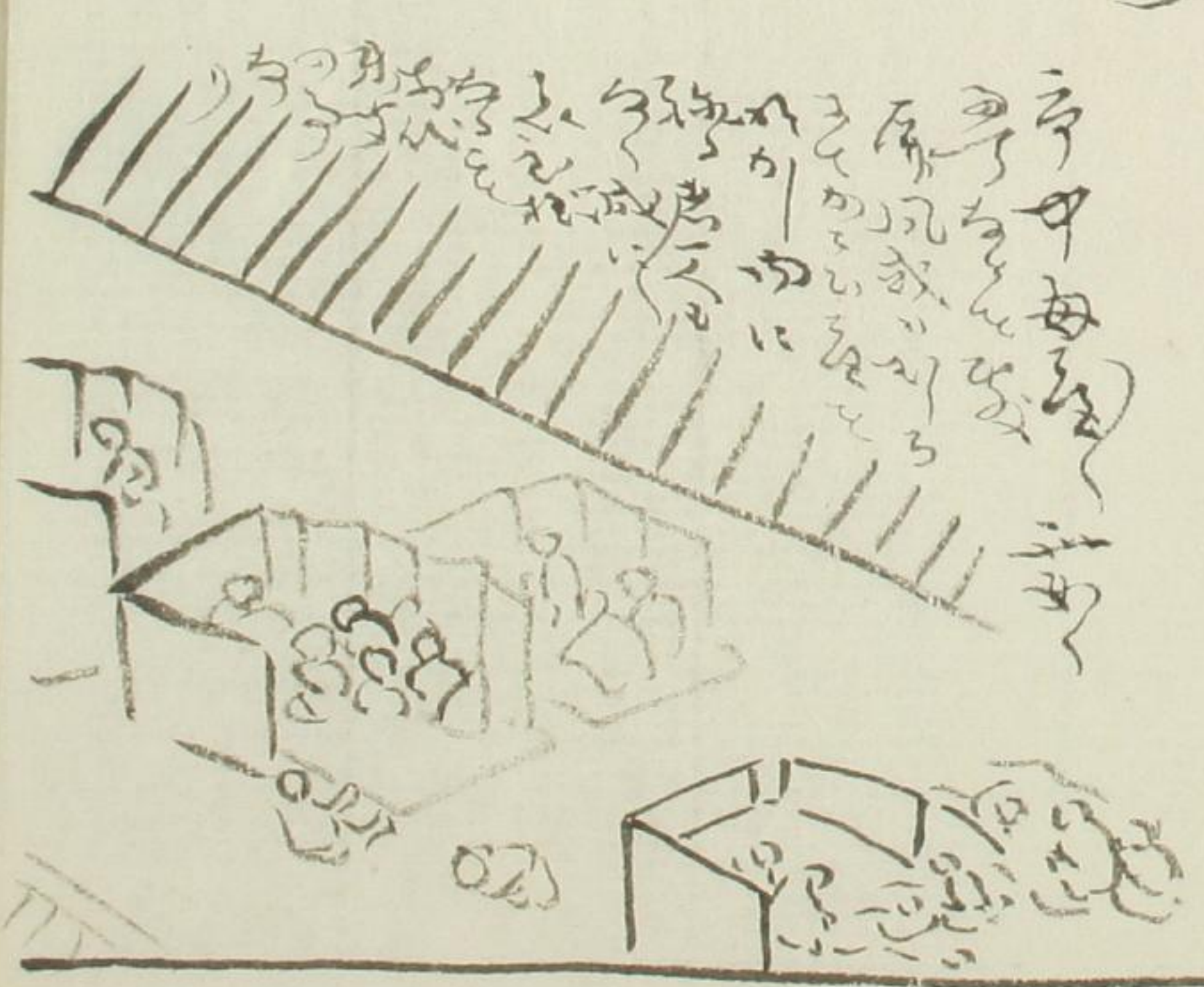
○前書治玉系大震 大震つゝ大 亦七甲寅年十月...

○大震 亦七甲寅年十月... 大列一枚つゝ 亦七甲寅年十月...

○大震 亦七甲寅年十月... 大列一枚つゝ 亦七甲寅年十月...

○大震 亦七甲寅年十月... 大列一枚つゝ 亦七甲寅年十月...

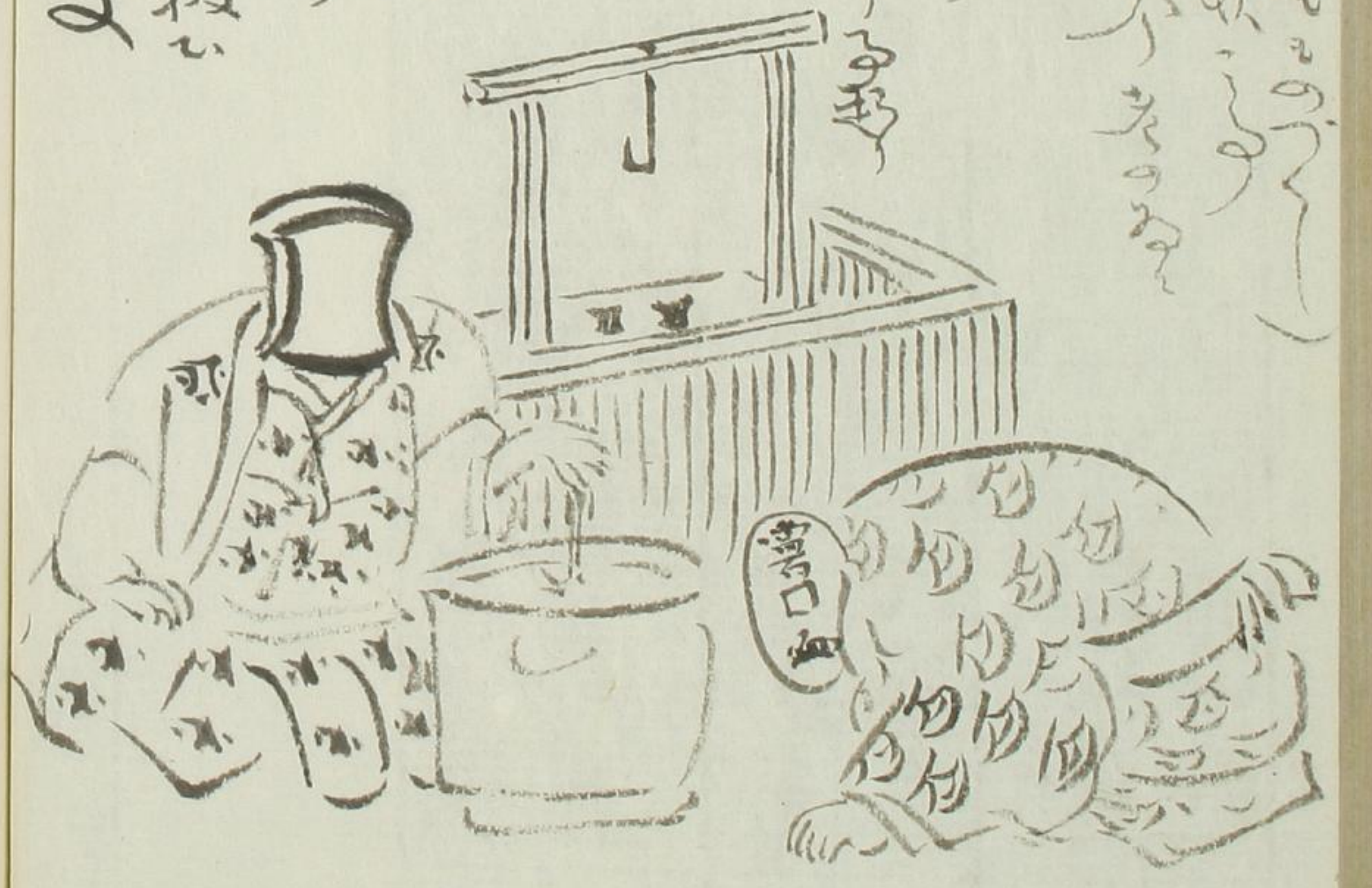
○大震 亦七甲寅年十月... 大列一枚つゝ 亦七甲寅年十月...



天保五年八月

身入路... 天保五年八月... 天保五年八月...

一私... 天保五年八月... 天保五年八月...



仲... 天保五年八月... 天保五年八月...

賞... 天保五年八月...

天保五年八月... 天保五年八月...

天保五年八月... 天保五年八月...

天保五年八月...

江戸
の
物
類

かきくま...
の葉を...
の葉を...
の葉を...

江戸の物類



江戸の物類

江戸の物類

江戸の物類

江戸の物類

江戸の物類

江戸の物類

江戸の物類

江戸
の
物
類

江戸の物類

江戸
の
物
類

江戸の物類

江戸
の
物
類

江戸の物類

江戸の物類

○大工戸の流由物集

○目録工三月

○生人形底二月

○生人形概

○大工下

○大工下

○大工下

○大工下

○大工下

大工の流由物集

目録工三月

生人形底二月

生人形概

大工下

大工下

大工下

大工下



○大工下

○大工下

○大工下

○大工下

○大工下

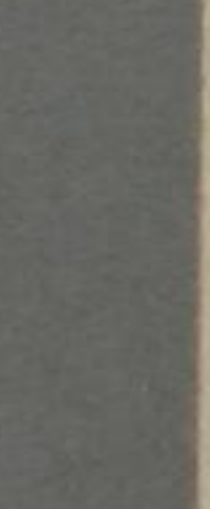
○大工下



○大工下

○大工下

○大工下

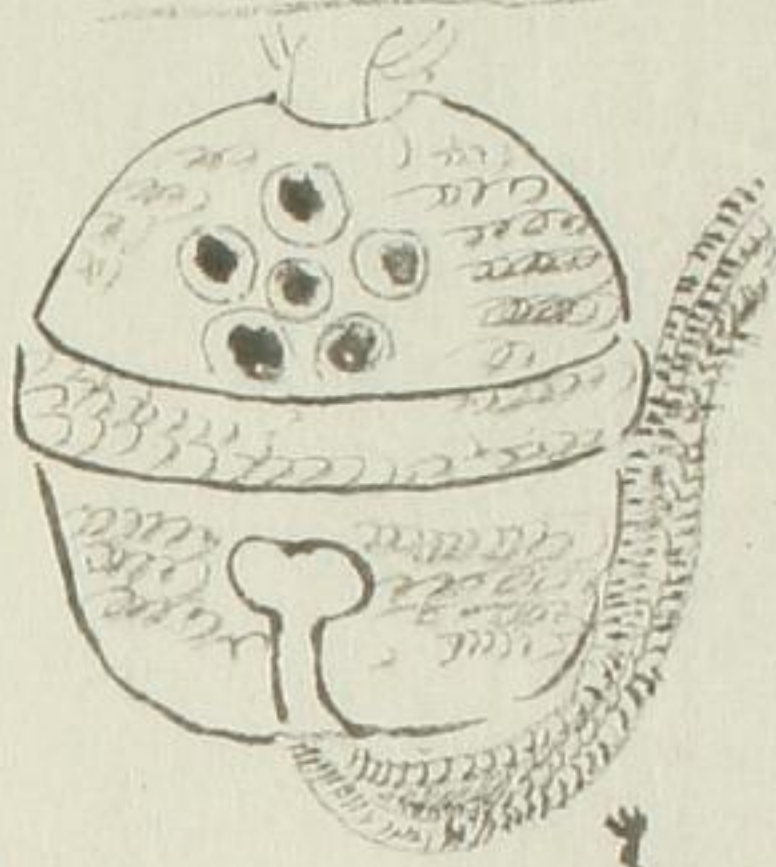


其也納物前... 南帳番の款

天保九年四月... 石の納物... 南帳番の款

白く天満... 南帳番の款

錢細江納物



可也

納物... 南帳番の款

年

二枚

南帳番の款

納物... 南帳番の款

年

二枚

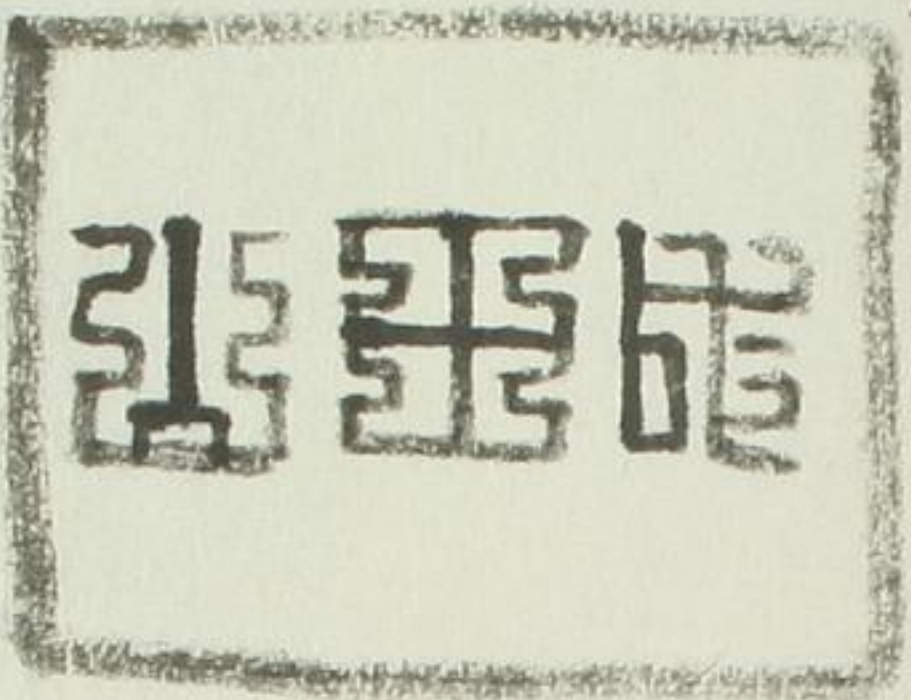
天保四年己三月成田山奉納の旨の

錢細江百文

日大納宗

年

三枚



天保四年七月十九日... 南帳番の款



南帳番の款... 細江を為す

御免琉球人列

琉球人未

前帳のめに仲見せの通し
今我山の三すそを造り
何れの前帳場の前帳解き
新なるをさす事なき
五重塔のまをの御南
ねを御せし
瑞ふ社殿の左側
せ造りあがつた
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年

御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年

御免琉球人列

御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年

御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年

御免琉球人列

御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年
御免琉球人列
天保十三年

○此の御書は...
○此の御書は...
○此の御書は...

○此の御書は...
○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

○此の御書は...

奔川の地帯
及川の人

本寺の... 九...

○... 流...

○... 川...

○... 部...

○... 先...

○... 三...

○... 七...

○... 二...

○... 若...

○... 三...

○... 大...

○... 大...

○... 大...

○... 大...

○... 大...

香山

○... 大...

○... 大...

○... 大...

一の書
古の書
古の書

古の書
古の書

古の書

古の書
古の書

古の書
古の書

○未だ之録
○新色
○古の書
○古の書

○月新
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

○古の書
○古の書
○古の書

鎌倉 腸栗園

寛政十年三月廿日板

大一枚

一、此の古歌を載す

石段の松を載す板一枚あり

○ 鎌倉の古歌を載す

一枚古板

○ 鎌倉の古歌を載す

一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

○ 鎌倉の古歌を載す

大一枚

箱根七湯泉園

寛政七年 古歌を載す板

大一枚

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

○ 箱根の古歌を載す

好連寺の経筒

好連寺の経筒

長寛元經筒 建久河唐

好連寺の経筒

長寛元經筒 建久河唐

好連寺の経筒

長寛元經筒 建久河唐

好連寺の経筒

長寛元經筒 建久河唐

好連寺の経筒

長寛元經筒 建久河唐

梵鐘
同經管
二合

遠州佐野郡原田郷長福寺天慶七年
寛弘四年藤原道長書寫奉納とあり

古瓦
古瓦

古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

五銘
三銘

五銘唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古瓦
古瓦

古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古瓦
古瓦

古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古瓦
古瓦

古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古瓦
古瓦

古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古瓦
古瓦

古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古瓦
古瓦

古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古瓦
古瓦

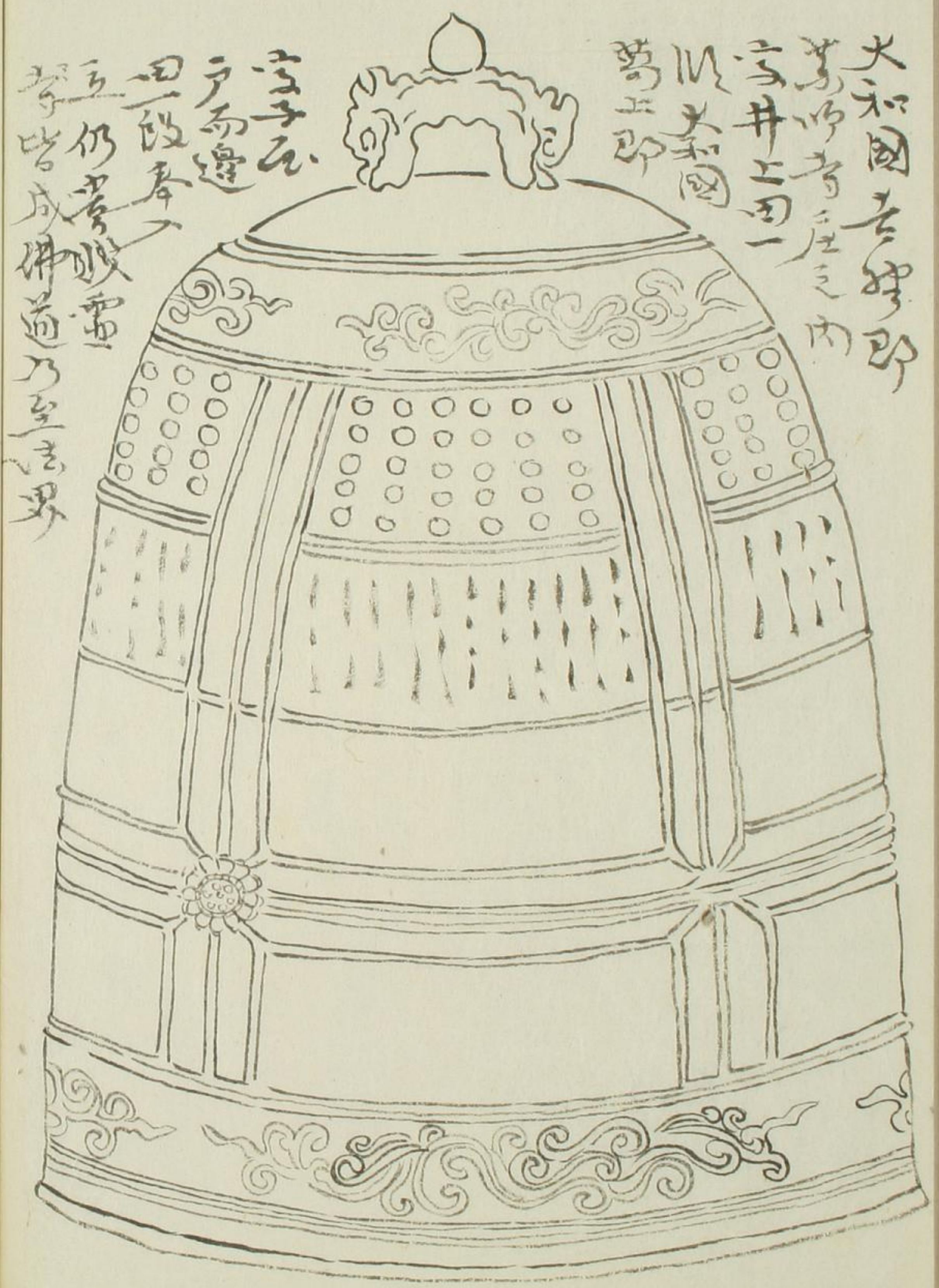
古瓦唐草ト鳥模様の狀脚のハカ
未嘗東刻見トあり

古鐘銘

保延六年十二月播磨守平外臣忠盛
就龍鑄鑄寛之二年甲辰四月九日
奉入立在大和國古野郡美作寺庄之内午房谷田一段

大和の内一万余丁を以て
古野郡美作寺庄之内午房谷田一段
古野郡美作寺庄之内午房谷田一段

大和國古市郡
 某寺庄之内
 三井二田一
 以美和國
 萬五郎



三子瓦
 戸而邊
 田段奉
 互仍者賊雷
 孝皆成佛道乃至法界

衆生平等利益矣 勸進 聖教 阿彌陀佛

小幡の巻紙

○幡左方の扇形に幡本
 二研慶應元年十月大和の寺本林田益持何勢三井高教書
 東原三層那結鏡 あり 景教が江戸吹上り等あり也
 名を物名にせんとし 東原とせし 今もあらずし 是れ前白
 小幡の巻紙に 一巻を甲三人 演説して高師真對する 不利也
 三年三月三日の事なり

小幡の巻紙

○昔村の村に大和の扇 幡本
 小幡の巻紙に 一巻を甲三人 演説して高師真對する 不利也
 三年三月三日の事なり
 上毛人の 義 あり 南 好の 忠臣 村に 大和の 巻紙 あり 也
 与七の 巻紙 あり 研 あり
 口多武吉 山神社 三田
 木板銅板 二枚

一 石名造り三丈八尺是了年近五十丁
如元七丈大和國之市即東之山園寺三同

○西國第一番委力高市郡壺坂寺園

○大和國神戶山之上重院橋寺總持園

○豐山長谷寺本新院 初勝山三同

○和州高麻寺加草三同

○和州高麻寺加草三同

○和州高麻寺加草三同

古板 一枚

古板 一枚

一枚

一枚

一枚

一枚

一枚

○奈良長久所物部内

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

○和州大正良區下知同

石巻竹園

一振りて... 枝九本... 東西三丈... 東西一丈... 前枝と同... 又とあり... 同



大坂... 元治元年... 同

○徳島... 同

○高松... 同

○奥州... 同

石巻の... 竹園

○三右... 同

○住吉... 同

○同... 同

○同... 同

○有馬... 同

天保の如き

天保の如き

天下茶

天保の如き

寛久二年仁徳上人再興後尊大廟之七續茶

○寛久二年仁徳上人再興後尊大廟之七續茶
○寛久二年仁徳上人再興後尊大廟之七續茶

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

古板 一枚
銅板 一枚

天下茶

天保の如き

天保の如き

天保の如き

天下茶

天保の如き

寛久二年仁徳上人再興後尊大廟之七續茶

○寛久二年仁徳上人再興後尊大廟之七續茶
○寛久二年仁徳上人再興後尊大廟之七續茶

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

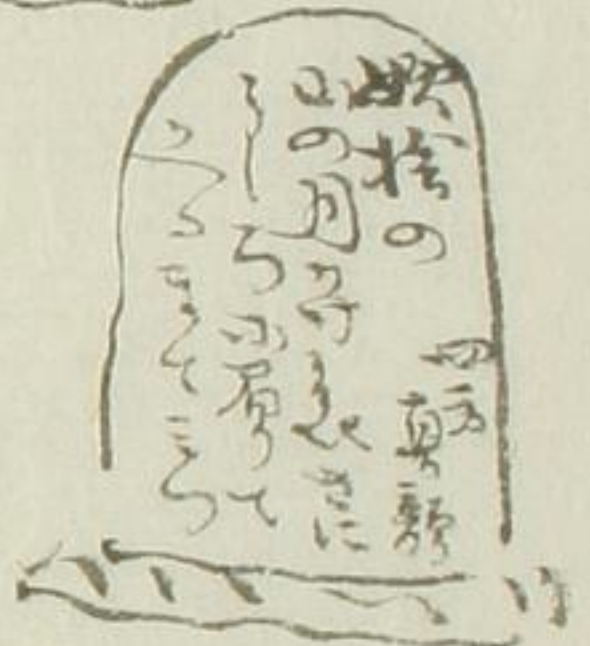
○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

○天保九年九月毎二
○天保九年九月毎二

古板 一枚
銅板 一枚

婦人の石

碑文を述べてあり



又碑文
入月七甲 乙のありしを我らあり

年かあるとてそのありしを我らあり

信州川中崎公致法印の墓所 西工修りあり

信濃玉善寺古塔

古塔 一枚
古塔 一枚

東 示教の古塔
北 不捨山浄土寺
北 空山浄土寺

南 命の古塔
北 伴の古塔

長野所全圖 新石
古塔 一枚
古塔 一枚

信濃玉善寺古塔

信州古塔

女形毛束金洞の古塔 古塔 一枚

伊香保温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔 古塔 一枚

信州温泉古塔

信州温泉古塔

信州温泉古塔

銘加錢字亦不行傳
康永二年大歲癸未七月日

鑄所 散位 藤原 卯信
賴宗 權律師
大檀那 左近將監 平親家
大檀那 常國 大將 山彌 義慶

以平年向七月
秋後亦不...

○新寫真景

○秋後...

○秋後...

康永二年七月十日
秋後... 鑄所... 散位... 藤原... 卯信... 賴宗... 權律師... 大檀那... 左近將監... 平親家... 大檀那... 常國... 大將... 山彌... 義慶...
秋後... 鑄所... 散位... 藤原... 卯信... 賴宗... 權律師... 大檀那... 左近將監... 平親家... 大檀那... 常國... 大將... 山彌... 義慶...
秋後... 鑄所... 散位... 藤原... 卯信... 賴宗... 權律師... 大檀那... 左近將監... 平親家... 大檀那... 常國... 大將... 山彌... 義慶...

嚴

○越中...

○但馬...

○河...

○嚴...

○嚴...

○嚴...

越中... 但馬... 河... 嚴... 嚴... 嚴...
越中... 但馬... 河... 嚴... 嚴... 嚴...
越中... 但馬... 河... 嚴... 嚴... 嚴...

但馬... 河... 嚴... 嚴... 嚴...
但馬... 河... 嚴... 嚴... 嚴...
但馬... 河... 嚴... 嚴... 嚴...

河... 嚴... 嚴... 嚴... 嚴...
河... 嚴... 嚴... 嚴... 嚴...
河... 嚴... 嚴... 嚴... 嚴...

嚴... 嚴... 嚴... 嚴... 嚴...
嚴... 嚴... 嚴... 嚴... 嚴...
嚴... 嚴... 嚴... 嚴... 嚴...

鳥羽の鳥羽
鳥羽の鳥羽
鳥羽の鳥羽

織解 鳥羽の鳥羽 同前大鼓二人 鼓吹十人 白引八人

合三女 餅物八人 甲兵十人 神馬三匹 武者五

餅取三人 衆人二十人 田樂三人 大童五人 中童三人

大鼓 御幣三人 大刀三人 社習馬三 大鼓 神樂三基

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣 御幣

此のやうな文のついでに、
出た。其の事なるは、
大鏡 長柄 大鏡持三人
神馬 社馬
素施守人 高野三人
高野三人 社馬
大物持人

神樂舞
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

此のやうな文のついでに、
出た。其の事なるは、
大鏡 長柄 大鏡持三人
神馬 社馬
素施守人 高野三人
高野三人 社馬
大物持人
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

神樂舞
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

神樂舞
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

神樂舞
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

神樂舞
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

神樂舞
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

神樂舞
二五五の
三三五の
神樂舞
高野三人
社馬
大物持人

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 甲午 | 八箇 | 廿一箇 | 廿三箇 | 廿五箇 | 廿七箇 | 廿九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 |
| 甲申 | 九箇 | 廿二箇 | 廿四箇 | 廿六箇 | 廿八箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 |
| 甲戌 | 十箇 | 廿三箇 | 廿五箇 | 廿七箇 | 廿九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 |
| 甲子 | 十一箇 | 廿四箇 | 廿六箇 | 廿八箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 |
| 甲寅 | 十二箇 | 廿五箇 | 廿七箇 | 廿九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 |
| 甲辰 | 十三箇 | 廿六箇 | 廿八箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 |
| 甲午 | 十四箇 | 廿七箇 | 廿九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 | 卅七箇 | 卅九箇 | 卅一箇 | 卅三箇 | 卅五箇 |

一箇 二箇 三箇 四箇 五箇 六箇 七箇 八箇 九箇 十箇 十一箇 十二箇 十三箇 十四箇 十五箇 十六箇 十七箇 十八箇 十九箇 二十箇 廿一箇 廿二箇 廿三箇 廿四箇 廿五箇 廿六箇 廿七箇 廿八箇 廿九箇 卅一箇 卅二箇 卅三箇 卅四箇 卅五箇 卅六箇 卅七箇 卅八箇 卅九箇 卅一箇 卅二箇 卅三箇 卅四箇 卅五箇 卅六箇 卅七箇 卅八箇 卅九箇

此年當... 一箇... 二箇... 三箇... 四箇... 五箇... 六箇... 七箇... 八箇... 九箇... 十箇... 十一箇... 十二箇... 十三箇... 十四箇... 十五箇... 十六箇... 十七箇... 十八箇... 十九箇... 二十箇... 廿一箇... 廿二箇... 廿三箇... 廿四箇... 廿五箇... 廿六箇... 廿七箇... 廿八箇... 廿九箇... 卅一箇... 卅二箇... 卅三箇... 卅四箇... 卅五箇... 卅六箇... 卅七箇... 卅八箇... 卅九箇... 卅一箇... 卅二箇... 卅三箇... 卅四箇... 卅五箇... 卅六箇... 卅七箇... 卅八箇... 卅九箇...

川北... 祭礼... 一箇... 二箇... 三箇... 四箇... 五箇... 六箇... 七箇... 八箇... 九箇... 十箇... 十一箇... 十二箇... 十三箇... 十四箇... 十五箇... 十六箇... 十七箇... 十八箇... 十九箇... 二十箇... 廿一箇... 廿二箇... 廿三箇... 廿四箇... 廿五箇... 廿六箇... 廿七箇... 廿八箇... 廿九箇... 卅一箇... 卅二箇... 卅三箇... 卅四箇... 卅五箇... 卅六箇... 卅七箇... 卅八箇... 卅九箇... 卅一箇... 卅二箇... 卅三箇... 卅四箇... 卅五箇... 卅六箇... 卅七箇... 卅八箇... 卅九箇...

月廿五日

曹井銀次郎

中野町



東洋
中野町



洋

子之